

## 論 説

## 中国語リスニング力の養成について

——中国語検定試験4級合格のための授業実践——

中 文 礎 雄  
陳 敏

## 序

ピンインから習い始め、1年間で4-6単位（1単位は90分授業15回分相当）を取得した学生は理論的に言えば中国語検定試験（以下中検と略称）4級に合格できる能力を身に付けている。しかし、実際には4級に合格できる学生はわずかで、ほとんどの学生は合格できないのである。その原因の一つはリスニング力の不足にある。リスニング力はそう簡単に身に付けるものではない。学習の意欲や日頃の努力はもちろん、専門に聴力を鍛える学習も不可欠である。また、検定試験の出題方式は独特なところがあるため、それに向けて適切な教材を用いて訓練しなければならない。

中検4級のリスニングの内容構成については、《よくわかる中国語検定4級—リスニング篇—》<sup>1)</sup>では、次のように分析してまとめている。

4級のリスニングは単文と長文の2部から構成され、それぞれ10問が出題され、計20問、100点を満点とし、60点を合格基準点としている。

単文は、1つの問いに対して、4つの選択肢から最も適当な答えを選ぶ方式をとっている。音声は最初に問い、その次4つの選択肢の順となっている。問いは疑問詞疑問文が最も多く、一般疑問文、反復疑問文、選択疑問文の順で続く。問いも選択肢も短く、情報量が少ないため、文の主語、述語、目的語などすべての内容が聞き取れるようにする必要がある。

長文は、2篇の長い文章から構成される。第69回（2009年11月）より以前は2篇とも記述体の文章であったが、最近では記述体の文章1篇と、会話体の文章1篇が出題される。1つの文章に対して5つの問いを出し、文章の内容に合った答えを4つの選択肢から選ぶ。音声は最初に長文、その次に問い、4つの選択肢の順となっている。

記述体長文の話題は家族、友達、勉学、余暇、留学、食事など、会話体長文の話題は出迎え、電話、診察、訪問、予定、どちらも日常生活に関するものが多い。記述体の文章はおよそ200字前後、会話体の文章は10句以上の構成が多い。

長文には人物、場所、時間など多くの情報が出るので、聞き取れる単語から、ある程度内容を推測することができる。話題や文章の流れを把握しておけば、想像でき聴解しやすくなることもある。聞き取れなければならない単語の量が多くなる上、似たような情報が複数出たりするので、

情報を整理しながらメモすることが大変重要になる。

上述の説明でわかるように4級リスニングの試験内容がそれなりに難しく、強い学習意欲や適切な訓練がなければ、なかなか合格できないのである。筆者は4—6単位を取得した学生を適切な教材や訓練方法を用いて教えれば、1学期計15回の授業で確実に4級リスニング合格のレベルに到達できると考えている。教材は過去問を中心としたものを用い、検定試験の出題方式に従い、項目ごとの訓練を行う考え方に基<sup>2)</sup>づき、筆者は本校副専攻中国語コミュニケーションコースの「専門中国語Ⅲ」の授業で実践を行<sup>2)</sup>った。本稿はこれらの授業の実践報告となる。

## I. 使用教材

### 1. 選定の基準

教材の選定は学生のレベル、授業の性格、到達の目標などによって決めるものなので、本実践の目的は4級リスニングの合格を目指すことであるから、いうまでもなく検定試験関連のものが適切である。検定試験関連の教材や参考書は数多く出版されている。過去問そのままの本もあれば、模擬試験形式の本もある。筆者の選定基準としては、①使用素材は検定試験の過去問であること、②本に取り入れている過去問の量が多いこと、③出題方式ごとに編集されていることを条件にした。このような基準に従い、多くの教材の中から選定を行い、斎藤敏康監修の《よくわかる中国語検定4級—リスニング篇—》（以下、よくわかる中検と略称）がもっとも適切な教材であると判断し、採<sup>3)</sup>用した。

### 2. 選定した教材の特徴

《よくわかる中検》の前書きに「4級は、基礎的な内容をテストするレベルで、平易的な中国語が聞きとれる、話せることが求められている。本書は平易的な中国語が聞き取れるために編集しているものである。過去のリスニング問題を取り上げ、練習方式の難易度を段階的に上げながら、訓練を行っていくことにしている。本書は中検4級のリスニング対策として使えるだけでなく、普通の聴解実力アップの勉強用書物としても大いに使える。」と記<sup>4)</sup>している。

中検は2015年6月まで通算86回行われ、途中、個別の試験方式を変えたりしたことがあるが、大枠は大きく変わっていない。《よくわかる中検》は、第57—75回までの18回分の4級リスニング過去問を取り上げ、その内容や特徴について研究分析し、テーマごとに分類を行っている。分類したものに対し、項目を立てて対策や訓練を行う仕組みとなっている。各項目では、出題の狙い、対策法、頻出の語句・表現などが項目の最初にまとめられている。「一般的に中国語検定試験4級を挑戦するには、学習時間が120—200時間必要と言われているが、簡単な入門を終え<sup>5)</sup>たばかりの方でも、この本を使うことができる。」と本にはこのように述べている。

### 3. 選定した教材の構成

この教材は2章から構成されている。第1章は単文のリスニング、第2章は長文のリスニングとなっている。

第1章の単文のリスニングでは、非疑問詞疑問文と疑問詞疑問文に分けている。非疑問詞疑問文では、「吗」を伴う一般疑問文、肯定否定の述語を伴う反復疑問文、「还是」を伴う選択疑問文、「呢」で表す省略疑問文の項目を設けている。「吗」を伴う一般疑問文には、所有を表す「有」、存在を表す「在」と「有」、判断動詞、動作動詞述語文、経験を表す文、趣味、愛好を表す文、助動詞を伴う文などの項目がある。

疑問詞疑問文では、人や物事を問う疑問詞「谁」、「什么」、場所を問う疑問詞「哪儿」、「哪里」、時間を問う疑問詞「什么时候」、「多长时间」、「几点」、「几月」、「几号」、「星期几」、数量を問う疑問詞「多少钱」、「几」、「多大」、「多+形容詞」、方式や状態を問う疑問詞「怎么」、「怎么样」を設けている。

第2章の長文のリスニングでは、叙述体の文章と会話体の文章に分けている。叙述体の文章では、家族の紹介、勉学、日常生活、一日の活動、余暇趣味、中国旅行留学など話題別にまとめている。会話体の文章では、出迎え、電話、診察、訪問、予定の話題に分けている。

## II. 訓練の方法

### 1. 単文

単文のリスニングは、問いに対して4つの選択肢から正答を選ぶ、いわば4択の方式を取っている。試験問題には問いも選択肢も印字されておらず、音声だけで解答を行わなければならない。問いの文型や内容には一定の方向性が見られ、範囲も限定されている。採用した《よくわかる中検》は、2005年11月から2011年11月までの6年間18回分のリスニング試験問題を網羅し、単文をパターンごとに整理分類を行っている。教材はいきなり本番試験と同様に何も提示せずに取り組むのではなく、部分的に文字を提示しながら、本番試験の形式に近づいていくやり方を取っている。具体的には、まず選択肢を提示し、問いは伏せた状態でリスニングを行う。続いて選択肢を伏せて、問いだけを提示した状態でリスニングを行う。その後解説を行い理解を深める。最後に試験本番の形式通りに、問いも選択肢も文字で提示せず、音声だけでリスニングを行う。解説の部分では、問い、選択肢の文字を提示しているだけでなく、ピンイン、日本語訳以外、聞く時の注意点、出題の狙いなど詳しい解説も付けている。学習者にとってはとても使いやすい構成となっているため、このような教材を手に入れている学習者は意欲と時間があれば、教室に来なくても教材に付いているCDで独学できるのである。わざわざ教室に集まった時には教員の教授方法が問われる。多種多様な方法があると思うが、筆者は下記のような方法で実践した。

#### 1-1. 音を出して読む

聞く前にまず大きな声を出して音読する必要がある。リスニングの内容を正しく音読できないなら、音声を聞くだけでそれを理解するのはとうてい無理なことである。したがって、まず正しく音読できることを追求しなければならない。正しく音読するためにはまず基本語彙の読み方を覚えておく必要がある。4級の基本語彙は明確の数がないが、検定協会の説明によれば、筆記を含む4級全体は500～1000語を基準にしている。人称、家族、数字、場所、時間、交通、趣味、

勉強、食事などに関するものが多い。品詞的に分けると、名詞の外に、動詞、形容詞、前置詞、副詞、疑問詞などがある。テキストには単文の出題に頻出している語彙表を特に付けていないが、テーマごとにまとめているので、その解説の部分を利用すれば同じ話題に頻出する語いや表現がわかる。解説には漢字の原文、ピンイン、日本語訳も付けてあるので、音読に適している。音読の時に特に以下の点に留意して読む訓練を行った。

(1) 発音が近似している語句に留意して音読する

音読する時には特に混同しやすい発音などに注意して読む必要がある。単文のリスニングでは、出題者は意識的に混同しやすい発音を選択肢にいれるパターンが多く見られる。

たとえば、第68回に

你有空吗？	Nǐ yǒu kòng ma ?	時間がありますか？
①我有裤子。	× Wǒ yǒu kùzi.	私はズボンを持っています。
②没空。	○ Méi kòng.	時間がありません。
③我有冰棍儿。	× Wǒ yǒu bīnggùnǚr.	私はアイスキャンディを持っています。
④没有狗。	× Méiyǒu gǒu.	犬がいません。

問いの「空」と選択肢にある「褲」「棍」の発音がよく似ているので混同しやすい。これは k と g の発音の違いを聞き分けられるかの設問である。

第64回に

这是你的电脑吗？	zhè shì nǐ de diànnǎo ma ?	これはあなたのパソコンですか？
①对、这是我的电脑。	○ Duì, zhè shì wǒ de diànnǎo.	はい。これは私のパソコンです。
②教室里没有电脑。	× Jiàoshì lǐ méi yǒu diànnǎo.	教室にはパソコンがありません。
③不、我喜欢喝咖啡。	× Bù, wǒ xǐhuan hē kāfēi.	いいえ。私はコーヒーを飲むのが好きです。
④我不看电视。	× Wǒ bú kàn diànshì.	私はテレビを見ません。

問いの「这是」と選択肢にある「教室」の発音が近似している。

第70回に

你去哪儿？	Nǐ qù nǎr ?	あなたはどこに行きますか？
①我去银行。	○ Wǒ qù yínháng.	私は銀行に行きます。
②他去学校。	× Tā qù xuéxiào.	彼は学校に行きます。
③你吃面包。	× Nǐ chī miànbāo.	あなたはパンを食べます。
④我吃面条。	× Wǒ chī miàntiáo.	私は麺を食べます。

動詞「去」と「吃」を正しく発音できない日本人が多くいるため、聞き分けもしづらい。

(2) 声調だけが違う語句に注意を払って読む

4 級リスニングは、声調の聞き分けができるかどうかとも出題のねらいの 1 つとなっているので、声調を正しく読む必要がある。

例えば、第69回には

这条河有多长？	Zhè tiáo hé yǒu duōcháng?	この川はどれぐらい長いですか？
①有十公里长。	○ Yǒu shí gōnglǐ cháng.	10キロあります。
②有两条大河。	× Yǒu liǎng tiáo dà hé.	大きな川が2つあります。
③有很多河。	× Yǒu hěn duō hé.	川がたくさんあります。
④他常常喝。	× Tā chángcháng hē.	彼はよく飲みます。

問いの「河」と選択肢にある「喝」のピンインのつづりが同じであるが、「河」の声調は第2声で、「喝」は第1声となるので、声調を注意しないと間違えやすい。

第57回には

你吃过水饺吗？	Nǐ chī guo shuǐjiǎo ma?	水餃子を食べたことがありますか？
①没去过。	× Méi qù guo.	行ったことはありません。
②吃过一次。	○ Chī guo yí cì.	一回食べたことがあります。
③我喜欢睡觉。	× Wǒ xǐhuan shuìjiào.	私は寝るのが好きです。
④我现在很想睡觉。	× Wǒ xiànzài hěn xiǎng shuìjiào.	私は今とても寝たいです。

問いの「水餃」と選択肢にある「睡觉」のピンインつづりは同じであるが、声調の組み合わせが違う。「水餃」は3声+3声、「睡觉」は4声+4声となる。混同しやすい。

もう1例を見てみよう。第67回には

明天会下雨吗？	Míngtiān huì xià yǔ ma?	明日は雨が降るだろうか？
①我不想吃鱼。	× Wǒ bù xiǎng chī yú.	私は魚を食べたくありません。
②他不会喝酒。	× Tā bú huì hē jiǔ.	彼はお酒を飲みません。
③明天不会下雨。	○ Míngtiān bú huì xià yǔ.	明日は雨が降らないはずです。
④我喜欢夏天。	× Wǒ xǐhuan xiàtiān.	私は夏が好きです。

「雨」と「魚」の声調は違う。「雨」は3声で、「魚」は2声となる。「下」と「夏」は同じ発音で、「下雨」と「夏天」はうしろの文字の発音で、聞き分けるようになっている。

## 1-2. 難易度を徐々に上げて訓練する

聞く訓練は何も提示せずにいきなり中検本番通りの方式で聞くより、徐々に難易度を上げて訓練の方が効果的である。語彙や構文が分からないなら、強引に聞かせても効果はあまり期待できなく、かつ実態に合わない無理なやり方は学習者の不安を引き起し、満足度を低下させ、続ける意欲を損ねる恐れがある。したがって、レベルに合った訓練の仕方が必要である。今回の実践はこのような方法を取り、徐々に難易度を上げて訓練を行った。

### (1) 問いを伏せて音声聞く

まず問いを伏せて選択肢を文字で提示している練習ステップでは選択肢の文字をヒントとして、問いの内容を想像しながら聞くことができる。また文字を見ながら選択肢の音声確認ができる。

例えば、「吗」を伴う一般疑問文では下記のようにになっている。

\_\_\_\_\_ ? (第71回)

- もう一例を見てみよう。

？（第63回）

- これは人物を問う疑問詞疑問文であるが、問いの「谁教你们汉语？」を伏せている。

第62回に出題されたものであるが、下記のように4択の答えは伏せる。

選択肢の①我没在家。②我家在大阪。③他不在家。④我不在家。を伏せている。

このように問いも選択肢も文字を見ながら聞いたり、伏せて聞いたりして熟練度を高めてから、最後に文字の提示がない本番の状態で聞き、でき具合を確認する。

(1) 語順

問いに対する正しい返答は、問いの各構成要素（主語、述語など）に対応していなければならない。例えば、人称代名詞が問いにある場合は、返答の際にはそれを適切に変えて、例えば、「你」を「我」にする必要がある。疑問詞が問いにある場合は、返答は適切なことばで例えば、「什么时候」を「明天」にとその疑問詞の答えになるような単語で、疑問詞に取って代わる必要がある。疑問詞、人称代名詞以外の部分は語句や語順を変更せずに返答するのが4級の特徴である。つまり、人称代名詞や疑問詞以外は、一箇所でも問いと一致していなければ、正解ではないと疑ってもよい。正答以外の選択肢は問いと単語や語順の不一致なもので作られている。特に注意しなけ



ればいけないのは、問いにある単語を、返答文において違う構成要素として使われている選択肢である。返答文に同じ単語を使われても、問いと同じ構成要素として使われていなければ不正解となるため、語句以外、語順についてつねに留意して聞く必要がある。

例えば、

你明天去学校吗？	（君は明日学校に行きますか？）	
①他明天去学校。	（彼は明日学校に行きます。）	× 主語が不对応。
②我今天去学校。	（私は今日学校に行きます。）	× 時間詞状語が不对応。
③我明天去学校。	（私は明日学校に行きます。）	○ 全て対応。
④我明天去邮局。	（私は明日郵便局に行きます。）	× 目的語が不对応。

#### A. 主語

主語が文の最初にくるのが一般的であるが、必ずとは言えない。

##### A-1. 「你」「我」「他（她）」

4級は主語が「你」である問いは最も多い。正答の主語は「我」でなければならない。

例えば、

我复习课文、你呢？	（私は本文を復習しますが、あなたは？）	
①他也复习。	（彼も復習します。）	×
②我也复习。	（私も復習します。）	○
③他每天都学习。	（彼は毎日勉強します。）	×
④我也每天去。	（私も毎日行きます。）	×

これは第70回の問題である。問いの主語は「你」であるため、正答の主語は「我」であるべき。よって選択肢①と③は問いの主語と不对応となっている。主語が聞き取れた時点で①③の選択肢が不正解と判断できる。

他懂外语吗？	（彼は外国語が分かりますか？）	
①我们不等。	（私たちは待ちません。）	×
②他懂法语。	（彼はフランス語が分かります。）	○
③他买外衣。	（彼はオーバーを買います。）	×
④我说中国话。	（私は中国語を話します。）	×

これは第69回の問題である。問いの主語は第3人称となっている。主語が第3人称の「她」と「他」の場合は、第3人称の「她」「他」で応答しなければならないので選択肢①と④は、主語が不对応となっている。

##### A-2. 人名や呼称

「田中」、「你爸爸」、「你姐姐」、「你家」、「那个人」のように人名や呼称の語句が主語として使われている場合も多い。これらの語句は第3人称なので、返答は「田中」、「我爸爸」、「我姐姐」でもよいが、「她」「他」で答えてもよい。

例えば、

山田在做什么呢？	（山田さんは何をしていますか。）	
①山田不坐电车。	（山田さんは電車に乗りません。）	×
②山田喜欢做菜。	（山田さんは料理するのが好きです。）	×

- ③她在听录音呢。 (彼女は録音を聞いています。) ○  
 ④她也是日本人。 (彼女も日本人です。) ×

これは第60回の問題である。問いの主語は人名となっている。人名の場合は人名で答える以外、第3人称の「他」「她」で答えても構わない。選択肢の主語の部分だけ見れば、どれも正答になりうる。主語が一致しても、述語や他の要素が合わなければ、正答にはならない。主語だけで正答の判断ができない問題である。

## B. 述語、目的語

### B-1. 動詞述語と目的語

述語は動詞、形容詞で構成する。文型によっては名詞で構成する場合もある。返答の時に、動詞「做」、「干」以外は、基本的には問いと同じ語彙を述語に使わなければならない。否定する時には否定副詞を述語の前に置く。動詞述語の構文では、判断動詞「是」、所有や存在を表す動詞「有」「在」、一般動詞の「去」「开」「吃」「买」が最もよく出る。「喝」「做」「干」「看」「回」「要」「来」「下」「学」「叫」の動詞もよく出る。これらの動詞で構成する述語、目的語に注意して聞く必要がある。

例えば、

- 你下个月去北京吗？ (あなたは来月北京に行きますか。)  
 ①我下个月去北京。 (私は来月北京に行きます。) ○  
 ②我上个月去北京了。 (私は先月北京に行きました。) ×  
 ③我不想吃北京菜。 (私は北京料理を食べたくありません。) ×  
 ④他不在北京、在上海。 (彼は北京にいない、上海にいます。) ×

第64回の問題であるが、動詞「去」で質問しているので、「吃」「在」の選択肢は不正解になる。

- 山田在做什么呢？ (山田さんは何をしていますか？)  
 ①山田不坐电车。 (山田さんは電車に乗りません。) ×  
 ②山田喜欢做菜。 (山田さんは料理するのが好きです。) ○  
 ③她在听录音呢。 (彼女は今録音を聞いています。) ○  
 ④她也是日本人。 (彼女も日本人です。) ×

第60回の問題であるが、動詞「做」「干」で構成する質問文「做什么？」「干什么？」の場合は、返答する際、動詞「做」「干」は目的語に応じて適切に変える必要がある。正答③は目的語の「录音」に対応して「做」を「听」に変えている。

### B-2. 形容詞述語

形容詞述語文は形容詞が文の最後に来ることが特徴である。日本語の「～は～です」を表す「是」を伴わない。「怎么样？（どうですか）」という疑問詞を用いて形容詞述語文の問いを作るため、返答文の述語は形容詞でなければいけない。例えば、

- 你爸爸、妈妈身体好吗？ (お父さん、お母さんはお元気ですか？)  
 ①我爸爸、妈妈不忙。 (私の両親は忙しくありません。) ×  
 ②我爸爸今年五十岁。 (父は今年50歳です。) ×  
 ③他们都很好、谢谢。 (彼らは皆元気です。ありがとうございます。) ○  
 ④我妈妈也不是大夫。 (母も医者ではありません。) ×



第74回に出題された形容詞述語文の問題である。問いには「好」を使っている。③は正答、述語形容詞「好」の前に副詞「很」と「都」を加えている。

- 你家离车站远吗？（家は駅から遠いですか？）
- ①那不是车站、是邮局。（あれは駅ではなく、郵便局です。） ×
- ②我家离车站不太远。（私の家は駅からあまり遠くありません。） ○
- ③我没有自行车。（私は自転車を持っていません。） ×
- ④我家有六口人。（私の家は6人家族です。） ×

第66回の問題である。問いに形容詞「远」を使っている。②は正答、形容詞「远」の前に副詞「不太」を付けている。

- 这首歌怎么样？（この歌はどうですか？）
- ①个子很高。（背が高いです。） ×
- ②哥哥很好。（兄はいいです。） ×
- ③很好看。（〈見た目が〉きれいです。） ×
- ④很好听。（〈音が〉きれいです。） ○

第68回の問題である。問いには「怎么样」を使っている。選択肢のどれも形容詞で答えているが①②は主語の不一致があり、①②③の形容詞は歌を修飾する形容詞ではない。

### C. 状語

状語とは、述語の前に置かれた述語の修飾語である。時間詞、副詞、助動詞、前置詞（介詞）句、方式を表す動詞句などで構成する。問いと一致しなければ正答にならない。

#### C-1、時間詞状語、副詞状語、助動詞状語

次の用例を見てみよう。

- 下午你有中文课吗？（午後あなたは中国語の授業がありますか？）
- ①下午我上学。（午後私は学校に行きます。） ×
- ②他每天上午工作。（彼は毎日午前仕事をします。） ×
- ③他下午没有课。（彼は午後授業がありません。） ×
- ④下午我有中文课。（午後私は中国語の授業があります。） ○

第71回の問題である。正答は④、時間詞「上午、下午」を区別する必要がある。時間詞は述語の前或いは文頭にも置けることを知っておきたい。4級のリスニングによく出る時間詞は「明天、今天、每天、晚上、星期天、明年、毎年、暑假、几点、什么时候」などがあり、覚えておくと便利である。

副詞状語の例を見てみよう。

- 这儿常下雨吗？（ここはよく雨が降りますか？）
- ①这儿人很多。（ここは人が多いです。） ×
- ②今天天气很好。（今日は天気がいいです。） ×
- ③我下午打工。（私は午後バイトします。） ×
- ④这儿不太下雨。（ここはあまり雨が降りません。） ○

第64回の問題である。問いでは副詞「常」を使っているが、正答の④は「常」と同じ意味の「太」を使って返答している。4級には副詞「在」（進行を表す）、「一起」、「也」、「都」もよく出

る。否定の返答をする時には、否定副詞の置く位置を注意する必要がある。一般的に否定副詞は他の副詞の前に置く。ただ、「都」は、否定副詞はその前後のどちらでも置け、置く位置によって意味が変わる。「也」は、一般的に否定副詞の前に置く。

次に助動詞の用例を見てみよう。

他会不会开车？	(彼は運転ができますか?)	
①他不会开车。	(彼は運転ができません。)	○
②他不去车站。	(彼は駅に行きません。)	×
③他们不回家。	(彼らは家に帰りません。)	×
④他没有自行车。	(彼は自転車を持っていません。)	×

第66回の問題である。問いに可能を表す助動詞の「会」を使っている。助動詞は基本的に動詞の前に置く。助動詞「想」「要」「打算」「准备」「可以」は出題される頻度が高い。否定の返答をする場合、否定副詞を助動詞の前に置かなければならない。

### C-2、動詞句状語、前置詞句状語

次の用例を見てみよう。

你打算怎么去他家？	(あなたはどうやって彼の家に行くつもりですか?)	
①我没去过他家。	(私は彼の家に行ったことはありません。)	×
②大家都是中国人。	(皆さん全部中国人です。)	×
③我打算骑车去。	(私は自転車で行くつもりです。)	○
④他不想来我家。	(彼は私の家に来たくありません。)	×

第72回の問題である。問いの「怎么」は述語の手段、方式を問う疑問詞で、述語の前に置くものである。③の動詞句「骑车」は述語「去」の方式を示す状語である。

他每天在哪儿练习会话？	(彼は毎日どこで会話を練習しますか?)	
①在公园练习会话。	(公園で会話を練習します。)	○
②在食堂吃午饭。	(食堂で昼ごはんを食べます。)	×
③我也去公园。	(私も公園に行きます。)	×
④我不去食堂。	(私は食堂に行きません。)	×

第71回の問題である。問いの「在哪儿」と①の「在公园」は前置詞（介詞）句状語である。「在」の外に、「离」「从～到」「给」もよく4級に出る。

### (2)文型

#### A. 文の相

動作の完了、状況の変化、過去の経験など、文の相を表す時には、動詞の後に助詞「了」や「过」を置く。「了」は文末に置く場合もある。注意して聞く必要がある。

次の用例を見てみよう

你去过美国吗？	(あなたはアメリカに行ったことがありますか?)	
①还没去过。	(まだ行ったことはありません。)	○
②我吃过一次。	(私は1回食べたことがあります。)	×
③我想去北京。	(私は北京に行きたいです。)	×
④还没吃过。	(まだ食べたことはありません。)	×

第58回の問題である。問いには動詞の後に「过」を使って経験を表している。否定の返答をする時は「没」を使わなければならない。正解は①である。

- |             |                      |   |
|-------------|----------------------|---|
| 你给老师打电话了吗？  | （あなたは先生に電話をしましたか？）   |   |
| ①老师没给我打电话。  | （先生は私に電話を掛けませんでした。）  | × |
| ②打了，可是他不在家。 | （掛けたが、彼は家にいませんでした。）  | ○ |
| ③老师没打我。     | （先生は私を殴っていません。）      | × |
| ④去了，我去他家了。  | （行きました。私は彼の家に行きました。） | × |

第72回の問題である。「了」は目的語の後に置いてある。否定の返答をする時「没」を動詞の前に使い、同時に「了」を取らなければならない。

## B. 文型

### B-1. 「是～的」構文

「是～的」は「……したのです」という意味を表す。この構文は動作の時間、場所などを強調する表現である。「是」は省略される時がある。特に返答文では「是」を省略した形をよく用いる。過去のことを表しているので、過去を表す時間語句が入っている選択肢は正答となる。

次の用例を見てみよう。

- |            |                    |   |
|------------|--------------------|---|
| 你是什么时候回来的？ | （あなたはいつ帰ってきたのですか？） |   |
| ①昨天回来的。    | （昨日帰ってきたのです。）      | ○ |
| ②弟弟还没回来。   | （弟はまだ帰って来ていません。）   | × |
| ③我下星期回来。   | （私は来週帰ってきます。）      | × |
| ④打算明天回来的。  | （明日帰るつもりでした。）      | × |

第62回の問題である。③④の時間詞は将来の時間となる。

### B-2. 肯定否定の述語を伴う反復疑問文

反復疑問文は述語の肯定否定のセットで構成される。「～是不是～？」「～有没有～？」などがその代表的な例である。反復疑問文の文末には、疑問を表す「吗」は伴わない。返答する時には、肯定か否定かで答えることが多いが、答えの最初に述語だけで肯定か否定かで返答し、その後に説明の文が続くケースもある。反復疑問文は述語が繰り返されるのが特徴なので、反復疑問文であることに気付きやすい。

次の用例を見てみよう。

- |           |                    |   |
|-----------|--------------------|---|
| 这附近有没有邮局？ | （この近くには郵便局がありますか？） |   |
| ①我要邮票。    | （私は切手がほしいです。）      | × |
| ②这附近没有邮局。 | （この近くには郵便局がありません。） | ○ |
| ③我要游泳。    | （私は泳ぎたいです。）        | × |
| ④这附近有汽车站。 | （この近くにはバス停があります。）  | × |

第71回の問題であるが、「有」を使った反復疑問文である。

下の用例は形容詞述語の反復疑問文である。

- |          |                 |   |
|----------|-----------------|---|
| 那儿夏天热不热？ | （その夏は暑いですか？）    |   |
| ①这不是我的。  | （これは私のではありません。） | × |
| ②那儿没有书。  | （そこには本がありません。）  | × |

- ③昨天太热了。 (昨日はとても暑かったです。) ○  
 ④那儿夏天特别热。 (その夏はとても暑いです。) ×

これは第66回の問題で、「热」を使った反復疑問文である。形容詞述語文の反復疑問文では「远不远？」の出題が最も多く見られる。季節についての反復疑問文の設問も少なくない。

次の用例は助動詞を伴う反復疑問文である。

- 你会不会滑雪？ (あなたはスキーができますか？)  
 ①会一点儿, 滑得不太好。 (少しできますが、あまり上手ではありません。) ○  
 ②我每星期都去游泳。 (私は毎週水泳に行きます。) ×  
 ③他滑雪去了。 (彼はスキーに行きました。) ×  
 ④我不会游泳。 (私は泳げません。) ×

第61回の問題である。助動詞を伴う動詞述語文の反復疑問文においては、肯定否定を反復するのは動詞ではなく、助動詞である。4級では、技能を聞く「会不会」の反復疑問文がほとんどである。返答する時には、一般的に肯定の「会」または否定の「不会」の構文で答えるが、「会」の後に「一点儿」を付けて答える場合もある。

### B-3. 「还是」を伴う選択疑問文

選択疑問文は選択の意味を表す接続詞「还是」によって構成される。構文は「(是) A、还是 B？」(A それとも B？) となる。

例えば、

- 你们坐飞机、还是坐火车去？ (飛行機で行きますか？ それとも汽車で行きますか？)  
 ①坐了一个小时飞机。 (1時間飛行機に乘りました。) ×  
 ②我明天没空儿。 (私は明日時間がありません。) ×  
 ③坐飞机去。 (飛行機で行きます。) ○  
 ④要十个小时。 (10時間かかります。) ×

第65回の問題である。問いは接続詞「还是」を使った選択疑問文である。4級の選択疑問文は飲食関連の出題が多い。行く場所・時間の選択や、物事を遂行する時の手段・方式の選択などの出題もある。選択肢のAかBを選択して答えるが、「是」「还是」を残してはいけない。返答の最初に「不」「对」「好」「行」で答えることはしない。また4級では、ほとんどの場合は肯定文で返答している。否定文で返答することが少ない。

### B-4. 「呢」で表す省略疑問文

「呢」は疑問の意味を表す助詞である。主語の後に置いて、主語以降の部分を省略させることができる。省略疑問文は「～、～呢？」(～、～は？) という構文となる。4級では「我～、你呢？」のような内容がほとんどである。これは「私は～、あなたは～ですか？」の省略型で、答える時、省略疑問文「你呢？」の前の文の内容に従って答えなければならないので、「你呢？」の前の部分を聞き取るのがとても大事である。肯定な返答の場合は、述語の前に副詞「也」を付けて答えるのが一般的である。

次の用例を見てみよう。

- 我是学生、你呢？ (私は学生ですが、あなたは？)  
 ①我不是老师。 (私は先生ではありません。) ×

- |          |                |   |
|----------|----------------|---|
| ②他也不是老师。 | （彼も先生ではありません。） | × |
| ③他是学生。   | （彼は学生です。）      | × |
| ④我也是学生。  | （私も学生です。）      | ○ |

第59回の問題で、判断文の省略疑問文である。

### B-5、「吧」「好吗」疑問文

「吧」は文末に付けて推察への同意を求める推測疑問文を構成する語気助詞である。この種の疑問文は、返答する時には、一般的にまず「对」、「是」、「不」で肯定か否定かの答えを行い、その後に詳しく答えたり説明したりする文が続く。

「好吗」は、提案や勧誘の先行文の後に付け、相手の意向を確かめたりする時に使う。返答する時には、賛成する場合は、まず「好」「行」で応答し、内容を展開していく文が後続する。断る場合は、理由などを述べる。

「好吗」「可以吗」「行吗」は、人の許可を求めたりする時に使い自分の意見や要求などを示す先行文の後に置かれる。返答する時、まず「好」「行」「可以」で答え、その後に展開文が続く。

次の用例を見てみよう。

- |           |                |   |
|-----------|----------------|---|
| 你是大学生吧？   | （君は大学生ですね？）    |   |
| ①不，我是高中生。 | （いいえ、私は高校生です。） | ○ |
| ②大概不是。    | （おそらく違います。）    | × |
| ③我不知道。    | （私は知りません。）     | × |
| ④我也是。     | （私もそうです。）      | × |

第63回の問題である。「是」を使った推測疑問文である。

- |              |                          |   |
|--------------|--------------------------|---|
| 我跟你们一起去，可以吗？ | （私はあなたたちと一緒にいってもいいですか？）  |   |
| ①行，我可以去学校。   | （いいですよ。私は学校に行ってもいいです。）   | × |
| ②行，咱们一起去吧。   | （いいですよ。私たちは一緒に行きましょう。）   | ○ |
| ③行，你可以一个人去。  | （いいですよ。あなたは一人で行ってもいいです。） | × |
| ④行，你不用去了。    | （いいですよ。あなたは行かなくてもいいです。）  | × |

第75回の問題である。「可以吗」を使って相手の許可を得ようとする問いに対して最初の返答である「行」で正答の判断が付かず、後続文で判断する例である。

## 2. 長文

長文のリスニングは会話体と記述体の二篇がある。会話体は文字の提示がなく、受験者は音声聞くだけで、正解を選ばなければならない。記述体は問いだけを問題用紙に印刷している。音声は長文、問い、選択肢の順で二回流される。

長文のリスニングは、どんなこと、どんなテーマについて述べている或いは会話しているかを正確に聞き取る必要がある。5つの問いの聞き取りも大変重要である。

### 2-1. 会話体長文

会話体長文は、長文、問いと選択肢の文字は一切提示されていない。正解率をアップするために、聞き方やメモの取り方を工夫しなければならない、その中、問いを如何に聴き取ることが最も重要とも言える。

会話体の長文の場合は2人（男と女）で話すのがほとんどで、男女の言うことを分けてそれぞれの情報を整理してメモを取る必要がある。会話体長文のテーマは日常生活のいろんな場面で交わされる会話で、第75回までは、診察、電話、出迎え、訪問、週末の予定のような話題が出された。

教材では、繰り返しによる定着度を高める手法を勧め、同じ会話体問題で3回練習することになっている。1回目は、会話の部分については、最初に発話する人物の文を文字で提示し、受け答え人物の返答を想像しながら書き取るトレーニングを行う。問いの部分については、選択肢の文字を提示し、問いを書き取る。2回目は、会話については、提示する部分・書き取る部分は1回目と逆になっている。1回目の練習が正しくできているかを確認できると共に、受け答える人物の返答を問題なく聞き取れるかの練習にもなる。問いの部分については、問いの文字を提示し、正解の選択肢だけを書き取る。最後の3回目は検定形式に沿って何も提示せずチャレンジする。この三段階の訓練を通してやさしくステップアップし、最終的に会話体長文を完全に聞き取れることを目指す。

今回の実践は基本的にテキストが勧めている方法を取ったが、単文のところで指摘しているように音読はとても大事な作業なので、漢字の原文、ピンイン、日本語訳を付けている解説の部分を利用し音読も行った。

#### (1). 長文の音読

例えば、次の会話体文章は第71回の問題で、解説の部分を利用して漢字の原文を音読する。読み方が分からなければ、後ろのピンインを利用して読む。意味が分からなければ、日本語訳を参照する。

(本文)

女：您是王先生吧？ 我姓林，欢迎您来日本！

Nín shì Wáng xiānsheng ba ? Wǒ xìng Lín, huānyíng nín lái Rìběn.

男：谢谢你来机场接我。Xièxie nín lái jīchǎng jiē wǒ.

女：不客气。我来帮您拿行李。Bú kèqì. Wǒ lái bāng nín ná xíngli.

男：不用，不用，我自己拿吧。Bú yòng, bú yòng, wǒ zìjǐ ná ba.

女：车在前边，请。Chē zài qiánbian, qǐng.

男：饭店离这儿远不远？ Fàndiàn lí zhèr yuǎn bu yuǎn ?

女：坐车大概要四十分钟。Zuòchē dàgài yào sì shí fēnzhōng.

男：到饭店以后，我们在那儿一起吃晚饭吧。

Dào fàndiàn yǐhòu, wǒmen zài nàr yìqǐ chī wǎnfàn ba.

女：好。Hǎo.

男：明天上午我想去公司见田中经理。

Míngtiān shàngwǔ wǒ xiǎng qù gōngsī jiàn Tiánzhōng jīnglǐ.

女：行，明天十点我去饭店接您。Xíng, míngtiān shí diǎn wǒ qù fàndiàn jiē nín.

男：那就麻烦您了。Nà jiù máfan nín le.

(日本語訳)

女：王さんでしょうか？ 私は林と申します。ようこそ日本へ！



男：空港まで迎えに来ていただき、ありがとうございます。

女：どういたしまして。荷物をお持ちしましょう。

男：いいえ、自分で持ちます。

女：車は前にあります。どうぞ！

男：ホテルはここから遠いですか？

女：車で大体40分ぐらいかかります。

男：ホテルに着いたら、そこで一緒に晩ご飯を食べませんか。

女：いいですよ。

男：明日午前、会社へ田中社長に会いに行きたいと思いますが。

女：分かりました。明日10時ホテルへ迎えに行きます。

男：それでは宜しくお願いします。

## (2). 男の発話の一部及び質問文を伏せる

音読して読み方や意味を確認した後、一部の原文や質問文を伏せて聞き、書き取る。

(本文)

女：您是王先生吧？ 我姓林，欢迎您来日本！

男：\_\_\_\_\_。

女：不客气。我来帮您拿行李。

男：\_\_\_\_\_。

女：车在前边，请。

男：\_\_\_\_\_？

女：坐车大概要四十分钟。

男：到饭店以后，\_\_\_\_\_。

女：好。

男：明天上午\_\_\_\_\_。

女：行，明天十点我去饭店接您。

男：\_\_\_\_\_。

(問いと選択肢)

(1) \_\_\_\_\_？

① 机场。

② 饭店。

③ 公司。

④ 汽车上。

(2) \_\_\_\_\_？

① 王先生接林先生。 ② 林先生接王先生。 ③ 田中经理接王先生。 ④ 田中经理接林先生。

(3) \_\_\_\_\_？

① 公司。

② 汽车上。

③ 机场。

④ 饭店。

(4) \_\_\_\_\_？

① 十四分钟。

② 四十分钟。

③ 十点。

④ 十一点。

(5) \_\_\_\_\_？

① 开车去饭店。

② 去田中家。

③ 去公司见经理。

④ 坐飞机去日本。

## (3). 女の発話の一部と選択肢の一部を伏せる

(2)で目で確認した内容を聞き、書き取れるかを練習しながら、(2)の書き取る部分を聞きながら目で確認する作業となる。

(本文)

女：\_\_\_\_\_？ 我姓林，欢迎您来日本！

男：谢谢你来机场接我。

女：不客气。\_\_\_\_\_。

男：不用，不用，我自己拿吧。

女：\_\_\_\_\_，请。

男：饭店离这儿远不远？

女：\_\_\_\_\_。

男：到饭店以后，我们在那儿一起吃晚饭吧。

女：\_\_\_\_\_。

男：明天上午我想去公司见田中经理。

女：行，\_\_\_\_\_。

男：那就麻烦您了。

(問いと選択肢)

(1) 他们现在在哪儿？

①\_\_\_\_\_ ②饭店。 ③公司。 ④汽车上。

(2) 他们是谁接谁？

①王先生接林先生。 ②\_\_\_\_\_。

③田中经理接王先生。 ④田中经理接林先生。

(3) 他们打算在哪儿吃饭？

①公司。 ②汽车上。 ③机场。 ④\_\_\_\_\_。

(4) 他们要坐多长时间的车？

①十四分钟。 ②\_\_\_\_\_。 ③十点。 ④十一点。

(5) 王先生明天想干什么？

①开车去饭店。 ②去田中家。 ③\_\_\_\_\_。 ④坐飞机去日本。

最後に一切提示せずに本番通りにチャレンジする。今度はメモの仕方を練習する。

1回目長文の音声を書く時、会話の大まかな内容を把握し、男性は誰、女性は誰、どこで、何について、最後にどうなったかについてメモしていく。

長文の後に問いが流される。問いを聞き取ることが正解率に繋がる大事な作業のため、1回目の問いを書く時は、主語、述語、目的語の順に、特に疑問詞、つまり何を聞かれているのかをメモしておきたい。選択肢が流される時は、メモした長文の内容に合うものに仮丸付けをする。

長文の2回目の音声が流される時は、メモした問いの答えとなる部分を中心に聞き、メモする。問いと選択肢の音声の時には、メモしたものの正誤を確認しながら正答に丸付けをする。

## 2-2. 記述体長文

記述体長文は、長文、問い、選択肢が一切提示されない場合と、問いだけ文字で提示する場合

がある。最近は問いを文字で提示する場合が多い。

記述体の長文の場合は1人の語り手が延々と話すことがほとんどである。テーマは家族、勉学、余暇趣味、日常生活などが頻繁に出る。大量かつ類似している情報を整理しながらメモしなければならない。

問いが提示されている場合音声流される前にいち早く問いの文字に目を通し、長文の内容が予測できれば、聞き取りやすくなる。音声の流れ始めたら、問いの答えになるものだけを中心に聞き、メモすればよい。しかし、これは試験時の対策であり、普段は問いの提示なしで練習したほうが、聴力のアップにつながる。

テキストでは習得度を高めるために、同一テーマの過去問の提示法を変えながら、難易度を徐々に上げる方式を取っている。具体的には、Aは、文章を文字で提示し、答えとなる部分にアンダーラインを付けている。問いも文字で提示するが、選択肢は提示せずにしている。Bは、文章及び選択肢を提示し、問いだけを提示せずにしている。文章中の問いの答えとなる重要な部分も提示せず空欄にしている。同一テーマの過去問が多い場合は、文章をピンインの形で提示する方式Cの練習もある。このA、B、Cの3方式の訓練を行ってから、最後に何も提示せずに音声だけを聞く本番方式の腕試しを設けられている。

今回の実践はこの部分に対しても基本的に教材通りの練習法をとったが、前述した通り、筆者は音読の重要性を痛感しており、テキストに設けられた練習の前に音読の練習を加えた。内容理解を正確にするため、日本語訳を見て聞く練習も設けた。

#### (1). 長文の音読

次の記述体文章は第71回の問題である。まず漢字の原文を音読する。読み方が分からなければ、後ろのピンインを利用して読む。

(本文)

我有一张照片，是爸爸、妈妈、姐姐和我一起在北京照的。我每天都带着这张照片，经常看一看。我喜欢我的家人，我爱我家。现在我来介绍一下我的一家。

我家在北京。我家有四口人。爸爸今年58岁，是高中的历史老师。他喜欢看《三国演义》，喜欢喝青岛啤酒。妈妈是初中的英语老师，55岁。她喜欢看老电影，喜欢听英语歌。

姐姐在上大学，学中国文学。姐姐英语说得很好。她喜欢买衣服、上网、喝可乐。她个子很高，头发很长，今年21岁。自己说还没有男朋友，可我不大相信。

我17岁，喜欢看小说，喜欢吃巧克力，喜欢运动。我有很多朋友。我明年考大学，现在正在努力学习。我还没有去过外国。有机会的话，我打算先去日本看一看。

(ピンイン)

Wǒ yǒu yì zhāng zhàopiàn, shì bàba, māma, jiějie hé wǒ yìqǐ zài Chángchéng zhào de. Wǒ měitiān dōu dài zhe zhè zhāng zhàopiàn, jīngcháng kàn yì kàn. Wǒ xǐhuan wǒ de jiārén, wǒài wǒ jiā. Xiànzài wǒ lái jièshào yíxià wǒ de yì jiā.

Wǒ jiā zài Běijīng. Wǒ jiā yǒu sì kǒu rén. Bàba jīnnián wǔshíbā suì, shì gāozhōng de lìshǐ lǎoshī. Tā xǐhuan kàn 《Sānguó yǎnyì》，Xǐhuan hē Qīngdǎo píjiǔ. Māma shì chūzhōng de Yīngyǔ lǎoshī, wǔshíwǔ suì. Tā xǐhuan kàn lǎo diànyǐng, xǐhuan tīng Yīngyǔ gē.

Jiějie zài shàng dàxué, xué Zhōngguó wénxué. Jiějie Yīngyǔ shuō de hěn hǎo. Tā xǐhuan

mǎi yīfú, shàng wǎng, hē kělè. Tā gèzi hěn gāo, tóufa hěn cháng, jīnnián èrshiyī suì. Zìjī shuō hái méiyǒu nán péngyou, kě wǒ bú dà xiāngxìn.

Wǒ shíqī suì, xīhuan kàn xiǎoshuō, xīhuan chī qiǎokèlì, xīhuan yùndòng. Wǒ yǒu hěn duō péngyou. Wǒ míngnián kǎo dàxué, xiànzài zhèngzài nǚlì xuéxí. Wǒ hái méiyǒu qù guo wàiguó. Yǒu jīhuì de huà, wǒ dǎsuan xiān qù Riběn kàn yì kàn.

(2). 日本語訳を見ながら聞く

音読した文章の意味がわからないことを防ぐに日本語訳を見ながら聞いて、文章の全体像を再確認する。

(日本語訳)

私は1枚の写真を携帯しています。それはお父さん、お母さん、お姉さんと私が万里の長城で撮った写真です。私は毎日この写真を携帯して、よく見たりしています。私は家族が好きです。私は私の家族を愛しています。では、私の家族をちょっと紹介しましょう。

私の家は北京にあり、4人家族です。お父さんは今年58歳で、高校の歴史の先生です。彼は『三国演义』を読むのが好きで、青島ビールを飲むのが好きです。お母さんは中学校の英語の先生で、55歳です。彼女は古い映画の鑑賞や英語の歌を聴くのが好きです。

お姉さんは大学に通っています。中国文学を学んでいます。彼女は英語が上手です。彼女は服を買うこと、インターネットをすること、コーラを飲むことが好きです。彼女は背が高く、髪の毛が長いです。自分では彼氏がいらないと言っていますが、私はあまり信じていません。

私は17歳です。小説を読むこと、チョコレートを食べること、運動することが好きです。私には多くの友人がいます。来年大学受験なので、今勉強を頑張っています。私はまだ外国へ行ったことがありません。機会があれば、まず日本に行ってみたいです。

(3). 原文の一部及び問いを伏せて聞き、書き取る

我有一张照片，是爸爸、妈妈、姐姐和我一起在长城照的。(a )，经常看一看。我喜欢我的家人，我爱我家。现在我来介绍一下我的家。

我家在北京。我家有四口人。(b )，是高中的历史老师。他喜欢看《三国演义》，喜欢喝青岛啤酒。妈妈是初中的英语老师，55岁。(c )，喜欢听英语歌。

姐姐在上大学，学中国文学。姐姐英语说得很好。她喜欢买衣服、上网、喝可乐。她个子很高，(d )。今年21岁。自己说还没有男朋友，可我不大相信。

(e )，喜欢看小说，喜欢吃巧克力，喜欢运动。我有很多朋友。(f )，现在正在努力学习。我还没有去过外国。有机会的话，我打算先去日本看一看。(第71回)

(1) \_\_\_\_\_ ?

- ①一张照片。      ②《三国演义》。      ③青岛啤酒。      ④巧克力。

(2) \_\_\_\_\_ ?

- ①爸爸58岁，我21岁。      ②爸爸58岁，我17岁      ③爸爸55岁，我21岁。      ④爸爸55岁，我17岁

(3) \_\_\_\_\_ ?

- ①喜欢运动。      ②喜欢喝酒。      ③喜欢买衣服。      ④喜欢看老电影。

(4) \_\_\_\_\_ ?

- ①爸爸。      ②妈妈。      ③姐姐。      ④我。

(5) \_\_\_\_\_ ?

①去外国。

②看小说。

③考大学。

④努力学习。

最後に何も提示しないで音声だけを聞き、メモの仕方を練習する。長文の音声を聞く時、長文のテーマや大まかな内容を把握し、複数の人物が出る場合は人物を軸に、日にちが複数の場合は日にちを軸に、事柄が多い場合は事柄を軸に、項目を立てて情報を整理しながらメモを取らせる。

例えば、家族を紹介するテーマの場合は、人物、年齢、趣味、仕事、いつ、どこで、何を、どんな方法で、どのぐらいなどのような項目を立てて整理する。わざわざ表を作る必要はない。自分さえ分かれば、中国語でも日本語でもどんな文字でもよい。省略形でもよい。自分に合った方法を選び、効率よく早くメモできるように練習する。

問いの音声を聞く時は、主語、述語、目的語の順に、特に疑問詞、つまり何を聞かれているのかをメモし、選択肢が流される時には、メモした長文の内容に合うものに仮丸付けをする。

### Ⅲ. 訓練の結果

上で示しているように4級リスニング合格のために多種多様な手法で多方面から訓練を試みた。この訓練は果して予定通りの結果をもたらしてくるのだろうか。学期の最後の15回目の授業で過去問を使い、本番通りの形式で検証試験を行った。検証にあたりより良い客観的なデータを得るため、過去問の選定について2点ほど留意した。1点目はテキストに収録していない過去問であること、2点目はこの問題の実試験を受けたことのないことを条件にした。この基準に従って選定した結果、2014年度の前期は第80回、2015年度の前期は第83回の問題が適当であると判断し、検証試験として使用した。2014年度前期の15回目の授業は7月18日の金曜、2015年度は7月17日の金曜であった。本番通りの形式なので、試験時間は30数分しかなかったが、その後、解説や正解率のチェックなどを行った。

#### 3-1. 検証試験の内容

検証試験の内容を大まかに把握するため、ここでは、2015年度前期の検証試験として使った第83回4級リスニング試験の内容を下記に記しておく。

##### (1). 単文

(1) 你中午在哪儿吃饭？

①我要回家做作业。

②我做的饭很好吃。

③我在食堂吃饭。

④我今天中午吃饺子。

(2) 我下午去图书馆、你呢？

①我上午去体育馆。

②我昨天在图书馆。

③我打算去体育馆。

④图书馆里人很多。

(3) 你喜欢吃苹果吗？

①我不太喜欢吃苹果。

②我不太喜欢吃西瓜。

③苹果比西瓜好吃。

④西瓜没有苹果好吃。

- (4) 你每天都学汉语吗？  
 ①我今天没去学校。 ②我每天都学汉语。  
 ③我昨天没写作业。 ④我明天有汉语课。
- (5) 她唱歌唱得怎么样？  
 ①她唱歌唱得很不错。 ②她很喜欢唱中文歌。  
 ③她在公园里唱歌呢。 ④她每天都唱中文歌。
- (6) 这本词典是谁的？  
 ①张老师想买一本词典。 ②这本词典是张老师的。  
 ③我没有汉语词典。 ④我买了三本小说。
- (7) 你家离学校远不远？  
 ①我每天坐电车去学校。 ②我每天八点去学校。  
 ③从我家到公司很远。 ④我家离学校不太远。
- (8) 你会不会开车？  
 ①我还会不会开车。 ②我有一辆摩托车。  
 ③我还没有买汽车。 ④我会骑自行车了。
- (9) 咱们晚上一起去看电影、好吗？  
 ①好，你一个人去吧 ②好，咱们一起去吧。  
 ③对，我不想去看电影。 ④对，昨天的电影没有意思。
- (10) 你去北京，还是去上海？  
 ①我没去过北京。 ②我去过三次上海。  
 ③北京烤鸭真好吃。 ④我打算去上海。

单文の正答と配点

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
3	3	1	2	1	2	4	1	2	4
5点	5点	5点	5点	5点	5点	5点	5点	5点	5点

## (2) 会話体長文

鈴木：田中，你去哪儿？

田中：哦，是铃木啊。我去超市。

鈴木：你去买什么？

田中：我去买点心和乌龙茶。

鈴木：你为什么要点心和乌龙茶？

田中：我们班新来了两个中国留学生，今天晚上开欢迎会。

鈴木：欢迎会在哪儿开呢？

田中：在留学生宿舍。

鈴木：几点开始？

田中：晚上六点开始，我五点半就要去准备。



鈴木：我也想参加，可以吗？

田中：当然可以。咱们老师也参加。

鈴木：那我一定去。我带一点儿水果和可乐吧。

田中：那太好了。晚上见！

(1)田中现在要去哪儿？

- ①她去学校。      ②她去书店。      ③她去超市。      ④她去宿舍。

(2)田中要去买什么？

- ①可乐和点心。      ②点心和乌龙茶。      ③水果和可乐。      ④乌龙茶和可乐。

(3)今天晚上给谁开欢迎会？

- ①给铃木开欢迎会。      ②给留学生开欢迎会。      ③给田中开欢迎会。      ④给老师开欢迎会。

(4)欢迎会在哪儿开？

- ①在老师的家里。      ②在田中的家里。      ③在留学生食堂。      ④在留学生宿舍。

(5)欢迎会几点开始？

- ①今天晚上六点。      ②今天晚上五点半。      ③明天晚上六点。      ④明天晚上五点半。

### (3). 記述体長文

我家有五口人：爸爸、妈妈、一个哥哥、一个妹妹和我。爸爸今年五十五岁，在邮局工作。妈妈是中学老师，比爸爸小两岁。爸爸喜欢打棒球，妈妈喜欢游泳。哥哥前年去美国留学了一年半，现在回到日本，在一家电脑公司工作。他喜欢玩儿电子游戏。

妹妹今年十九岁，比我小一岁，今年大学一年级。妹妹和爸爸妈妈不一样，不喜欢运动，喜欢看书，学习成绩很好。我今年大学二年级。我的爱好是打网球，专业是经济学，毕业以后，打算做国际贸易工作，所以现在一定要学好英语。

(6)我家都有什么人？

- ①爸爸、妈妈、哥哥、妹妹和我。      ②爸爸、妈妈、哥哥、姐姐和我。  
③爸爸、妈妈、姐姐、妹妹和我。      ④爸爸、妈妈、哥哥、弟弟和我。

(7)妈妈比爸爸小几岁？

- ①妈妈比爸爸小一岁。      ②妈妈和爸爸一样大。  
③妈妈比爸爸小两岁。      ④妈妈比爸爸大两岁。

(8)哥哥在哪儿工作？

- ①在邮局工作。      ②在电脑公司工作。      ③在贸易公司工作。      ④在一所高中工作。

(9)我的爱好是什么？

- ①我喜欢游泳。      ②我喜欢玩儿游戏。      ③我喜欢打棒球。      ④我喜欢打网球。

(10) 我为什么要学好英语？

- ①因为我打算做国际贸易工作。      ②因为我非常喜欢学习英语。  
③因为我的英语成绩很好。      ④因为我父亲英语说得很好。

### 長文の正答と配点

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
3	2	2	4	1	1	3	2	4	1

5 点	5 点	5 点	5 点	5 点	5 点	5 点	5 点	5 点	5 点
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

### 3-2. 検証試験の結果及びその分析

#### (1). 2014年度前期の結果

2014年の前期Wクラスは第80回のリスニング問題を検証試験として使用した。参加した学生が23人で、試験結果は下記の通りである。

100点2人、95点1人、90点3人、85点2人、80点1人、75点1人、70点4人、65点3人、60点1人、55点3人、45点1人、40点1人となっている。60点以上を取った人は18人で、約78%を占めている。59点以下の不合格者は5人で、約22%となっている。この数字が示しているように約8割の学生が4級リスニング合格できる力を身に付けていることが分かる。

ご参考までに同じ検証問題を用いたSクラスとNクラスの検証結果を下記に示しておく。

Sクラスは21人が参加し、結果は下記の通りである。

100点4人、80点5人、75点8人、65点1人、60点1人、55点1人、45点1人となっている。60点以上の人19人で、約90%を占めている。59点以下の人2人で、約10%を占めている。

Nクラスは26人が参加し、結果は下記の通りである。

100点2人、95点8人、90点4人、85点1人、80点3人、75点2人、70点2人、65点1人、60点1人、50点1人、45点1人となっている。60点以上の人24人で、約92%を占めている。59点以下の人2人で、約8%を占めている。

#### (2). 2015年度前期の結果

2015年度前期、筆者のクラス（以下Wクラスと称する）は21人が検証試験に参加した。試験結果は下記の通りである。

100点1人、95点6人、90点2人、85点2人、80点1人、75点2人、70点1人、65点1人、60点1人、55点1人、50点1人、40点1人、20点1人となっている。合格基準点60点以上を取った人は17人で、検証試験参加者の約81%を占めている。59点以下の不合格者は4人で、約19%を占めている。この数字が示しているように15回授業の訓練を受けた学生の約8割が4級リスニング合格の力を身に付けていることが分かる。

ご参考までにWクラス以外、同じ検証問題を用いたSクラスとNクラスの検証結果を下記に示しておく。<sup>6)</sup>

Sクラスは26人が試験に参加した。得点は下記の通りである。

100点5人、95点2人、90点2人、85点2人、80点3人、75点2人、70点1人、65点3人、55点1人、45点1人、40点2人、35点1人、30点1人となっている。60点以上の人20人で、約77%を占め、59点以下の人6人で、約23%を占めている。

Nクラスは23人が試験に参加した。得点は下記の通りである。

100点2人、95点4人、90点3人、85点2人、80点3人、75点2人、70点1人、65点1人、60点3人、55点1人となっている。60点以上の人22人で、約96%を占め、不合格者はわずか4%しかいなかった。

副専攻の「専門中国語Ⅲ」は全部で5クラスあり、授業の性格、到達目標、シラバス及び教材は統一している。詳細な訓練手順などは各担当者の特徴を生かした授業運営を展開している。訓練手順が多少違っていても、教材や到達目標を共通にしていれば、似たような結果が得られると思う。実態もそうになっている。

### （3）項目ごとの得点の分析

#### A. 2014年度

2014年度ではWクラスの項目ごとの得点率は次の通りである。単文では77.4%、会話体文章では63.5%、記述体文章では71.3%となっている。会話体の得点率はやや落ちてはいるが、合格基準点60点以上になっているので、特に問題があるとは言えない。また、間違いについては、単文も長文も特に偏っていない。単文では第3問、第9問の間違いが比較的多く、会話体文章では第2問、第5問、記述体文章では第7問、第9問の間違いが比較的多く見られる。

単文の第3問、第10問は次の通りである。

(3) 你下星期去上海吗？

①我上星期去北京了。

②他上星期没去北京。

③我不去上海、去北京。

④他下星期不去上海。

(10) 这里夏天很热吧？

①对，这里春天很暖和。

②不，这里夏天不热。

③对，这里冬天很冷。

④不，这里秋天很凉快。

第3問は時間詞や目的語の聞き分けの問題である。第10問は主語や述語の聞き分けである。

会話体文章の第2問、第5問は次の通りである。

(2) 男的学了几年英语了？

①学了一年了。

②学了五年了。

③学了七年了。

④学了两年了。

(5) 女的打算去哪里留学？

①去中国留学。

②去英国留学。

③去美国留学。

④去日本留学。

第2問は時間詞・数字の問題で、第5問は国名の問題である。

記述体文章の第7問、第9問は次の通りである。

(7) 铃木做什么工作？

①他是旅行社职员。

②他是银行职员。

③他是贸易公司职员。

④他是电视台职员。

(9) 铃木说汉语说得怎么样？

①他说汉语说得不太好。

②他说得比中国人好。

③他说汉语说得很好。

④他一点儿也不会说汉语。

第7問は職業を聞く問題で、第9問は中国語の能力についての問題である。長文の場合、問いに対して、選択肢だけを見ると、どれも正答になりうるが、原文にはどのように言っているかを聞き取れないと正答できない。

#### B. 2015年度

2015年度ではWクラスの検証試験項目ごとの得点率は次のようになっている。単文では76.2%、会話体長文では75.2%、記述体長文では79%となっている。この数字が示しているように特に偏りがなく、バランスよく得点していると言える。

ただ単文の部では得点できなかった問題は特定のところに集中している。それが単文の第2問である。21人の内、16人もこの問題を間違えて得点率はわずか24%しかなかった。単文の第2問の問いと選択肢は次のようになっている。

(2) 我下午去图书馆, 你呢?

①我上午去体育馆。 ②我昨天在图书馆。 ③我打算去体育馆。 ④图书馆里人很多。

問い「私は午後図書館に行きますが、あなたは?」は省略疑問文である。問いに対して何も迷いがなかったと思う。間違い判断を引き起こしたのが選択肢であろう。正答③は問いの時間詞を省略し、その場所に聞き慣れていない助動詞「打算」を入れてある。「打算」を聞き取れない学生はここは問いの「下午」と違い正答でないと判断しただろう。また、①の「我上午去体育馆」は、他の選択肢より問いの「我下午去图书馆」の発音とよく似ていることも挙げられる。近似している発音の聞き分けは4級リスニングの出題のねらいの1つとなっている。その落とし穴にはまった結果となった。

会話体長文は第5問の間違いが比較的多く見られた。第5問の問いと選択肢は次のようになっている。

(5) 欢迎会几点开始?

①今天晚上六点。 ②今天晚上五点半。 ③明天晚上六点。 ④明天晚上五点半。

問いは「歓迎会は何時からですか」。原文には「今天晚上」「6点开始」「5点半就要去准备」と時間について3つ出ている。この3つの情報を整理し把握しなければいけない。情報整理の訓練はもっと必要と物語り、時間や数字をメモする際、何の時間も一緒にメモする習慣付きが大事である。

記述体の文章では、特に偏っておらず、第8問、第9問、第10問の間違いが比較的に多い。

## 結

中国語リスニング力はそう簡単に身に付けるものではないが、筆者は、4-6単位を取得した学生に適切な訓練を施せば、1学期15回の授業で間違いなく中国語検定試験4級リスニングに合格できる力を身に付けることができると考え、2014年度から二年間渡り授業実践を行った。上に示しているように本稿は中国語リスニング力の養成についての授業実践を述べてきた。上の論述を通しておよそ下記のような結論がまとめられよう。

①適切な訓練を行えば、1学期15回の授業で検定試験4級リスニングに合格できる力を身に付けることが可能である。

②訓練にあたっては適切な教材が必要である。

③教材は過去問を中心としたものが適切であると同時に、かなりの量も必要である。

④訓練はいきなり本番方式ではなく、徐々に難易度を上げて行うべきである。

⑤リスニングの内容を音読できるように訓練していく必要がある。音読できない内容は聞き取れないのである。

⑥発音が近似している語句の聞き分けは4級リスニングのねらいの1つであることから、発音

が似ている語句の聞き分け訓練が重要である。

⑦訓練は試験問題出題方式に従い、項目ごとに行った方が効果的である。

⑧単文の部では、主語、述語、目的語、修飾語など中国語の基本構文をしっかりと押さえておく必要がある。

⑨会話体文章の部では、複数の人物や事柄、時間などが出たりするので、それぞれを関連情報と一緒にメモして整理する必要がある。

⑩記述体文章の部では、テーマ及びその内容の流れの把握が大事である。会話体長文同様に複数の人物、事柄などが交差に出る場合が多いので、メモの取り方に工夫しなければいけない。

#### 注

- 1) 斎藤敏康監修、文楚雄・陳敏編著『よくわかる中国語検定4級一リスニング篇』iv 頁-v 頁、郁文堂、2013年10月。
- 2) 立命館大学衣笠キャンパスでは「副専攻中国語コミュニケーションコース」を設けている。1 回生時に4-6 単位を取得している学生を対象にしているコースであり、中に「専門中国語Ⅲ」という授業を設けており、主としてリスニング力を養成する。
- 3) 同上1)。
- 4) 同上1) まえがき。
- 5) 同上1) まえがき。
- 6) S クラス、N クラスは副専攻中国語コミュニケーションコースの中のクラスで、W クラスと統一したシラバスを使用している。

#### 参考文献

1. 胡玉華、《中国語教育とコミュニケーション能力の育成「わかる」中国語から「できる」中国語へ》、東方書店、2011年2月。
2. 濱口英樹、「中国語教育実践報告」、《外国語教育フォーラム》第4号、関西大学外国語学部・外国語教育学研究科発行、2005年3月。
3. 加地伸行、『漢文法基礎』、講談社学術文庫、2010年10月。
4. 藤田益子、『2009年「漢語水平考試受験準備講座」における調査報告』、『新潟大学国際センター紀要』、新潟大学国際センター、2009年3月。
5. 河井昭乃、『初級段階における中国語教育法についての一試論：インターネットを利用した自立学習の支援』、愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会、2009年3月。
6. 林朝子、『中級学習者の聴解における困難点：中級Ⅰ聴解クラスの実践から』、『三重大学留学生センター紀要』3巻、2001年3月。
7. 尹松、『聴解ストラテジー使用と聴解力との関係について：日本語を主専攻とする中国人大学生の意識調査の結果から』、『言語文化と日本語教育』Vol. 21、お茶の水女子大学日本言語文化学会、2001年7月。
8. 門田修平、『シャドーイングと音読の科学』、コスモピア、2007年2月。
9. 郭修静・小林葉麻子、『中国語授業におけるポッドキャスト・音声教材開発の試み：大阪女学院の一年生への実践から』、『大阪女学院大学紀要』3巻、2007年1月。
10. 桑原陽子・敷田紀子・趙曉妮、『CALL 教材開発の試みーカタカナ語練習用教材、音声聞き取り教材の作成報告ー』、『福井大学留学生センター紀要』第2号、2007年3月。
11. 中込明子、『トップダウン型とボトムアップ型の連携による独話聞き取りの教室活動について』、『言語文化と日本語教育』Vol. 13、お茶の水女子大学日本言語文化学会、1997年6月。

12. 平井勝利、『教師のための中国語音声学』、白帝社、2012年。
13. 中村俊弘、『聞き取りを中心とした授業展開の提案—通訳訓練を視野に入れて—』、『関西大学外国語教育フォーラム』第2号、関西大学外国語教育研究機構、2003年3月。
14. 中込明子、『日本語学習者の独話聞き取りについて—内容部分と機能部分の分析—』、講座日本語教育第33分冊、早稲田大学日本語研究教育センター、1998年3月。
15. 須山哲治、『中国語のリスニング教授法について：大規模教室への導入の観点から』、『早稲田教育評論』第24巻、早稲田大学教育総合研究所、2010年3月。
16. 岩崎皇、『中国語の音声学習について』、『駒澤大学総合教育研究部外国語論集』第13号、2012年9月。
17. 岩崎皇、『中国語テキストに関する一つのアイデア』、『駒澤大学総合教育研究部外国語論集』第15号、2013年9月。